第79回秋季東北地区高等学校野球宮城県大会

準々決勝　利府町中央公園野球場　1 時間 42 分

チーム	1	2	3	4	5	計
仙台東	0	1	0	0	0	1
仙台育英	2	3	0	11	X	16

（ 5回コールド ）

	打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併
【東】	17	2	1	1	0	0	7	1	3	0
【育】	26	13	14	4	2	7	0	7	0	0

（球） 浅野 雅訓 （一） 水戸 恭平 （二） 雁部 博昭 （三） 佐藤 圭師

【東】 砂金, 加藤, 小宮 ― 中村
【育】 加藤, 福井, 齋藤 ― 柴田, 倉方

▽暴投 砂金1, 加藤2(東)　▽捕逸 中村1(東)

▽本塁打 なし
▽三塁打 小久保(育)
▽二塁打 なし (東) 柴田, 砂, 有本 (育)

【評】
試合巧者の仙台育英が5回コールドで仙台東を圧倒し、3大会連続の4強進出を決めた。

仙台育英は初回、無死1，2塁から3番丹羽の右前適時打で先取点を挙げると盗塁や失策などを絡め2点を先制。その後も着実に得点を重ねた。4回には先頭丹羽の内野安打を足掛かりに打者15人の猛攻で一挙に11得点を挙げ試合を決めた。仙台東は2点をリードされた2回、7番上地の適時打で1点を返したがその後は安打が出ず得点できず、守っても大事な局面で失策が出るなど精彩を欠いた。

準々決勝　利府町中央公園野球場　1 時間 54 分

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
ウエルネス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
富谷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

（ 延長10回タイブレーク ）

	打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併
【ウ】	29	3	2	1	3	1	6	3	0	0
【富】	33	5	1	1	2	3	7	9	0	0

（球） 野田 学 （一） 森山 宏則 （二） 山舘 浩樹 （三） 菅原 幸

【ウ】 五十嵐 ― 畑
【富】 小嶋, 佐藤 ― 伊藤

▽暴投 なし　▽捕逸 なし

▽本塁打 なし
▽三塁打 なし
▽二塁打 なし (ウ) 相馬, 佐藤 (富)

【評】
息詰まる投手戦をタイブレークの末、日本ウェルネス宮城が接戦を制し、創部史上初の準決勝進出を決めた。日本ウェルネス宮城は10回表、無死１・２塁から４番菅原が丁寧に犠打で走者を進めた。続く５番米田が追い込まれながらもセンターへ鋭い打球を放ち、二者が生還した。後攻の富谷も10回裏に９番石垣が犠打で走者を進め、１番小野の１塁ゴロの間に３塁走者が生還し、１点差に詰め寄ったが、後続が倒れた。両校の投手陣が制球よく投球を披露した。日本ウェルネス宮城の先発五十嵐は10回を投げ被安打５、富谷の先発小嶋は５回を被安打２、救援した佐藤は５回を被安打１と、直球・変化球ともにコーナーをつく投球で、互いに９回まで無得点と引き締まった展開となった。両校ともに失策なく準々決勝にふさわしい好ゲームだった。

準々決勝　石巻市民球場　2 時間 8 分

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
東北	0	0	0	1	0	1	1	1	1	5
東陵	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

（ ）

	打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併
【北】	31	8	5	5	5	4	6	8	0	0
【陵】	31	6	1	0	0	2	9	5	3	0

（球） 西城 皇祐 （一） 佐藤 圭 （二） 村上 大輔 （三） 山下 大輔

【北】 石﨑 ― 佐藤
【陵】 渡邉友, 遊佐 ― 大堀

▽暴投 なし　▽捕逸 なし

▽本塁打 なし
▽三塁打 鈴木(北)
▽二塁打 笠 (北) なし (陵)

【評】
私立実力校同士の準決勝屈指の好カードとなった一戦は、東北が終盤に着実に加点しベスト4進出を決めた。東北は石崎、東陵は渡邉の両右腕が先発し、序盤は両チーム無得点で進んだ。均衡を破ったのは東北。4回表、先頭の笠が二塁打で好機を作ると、犠打で無死三塁とし、4番野世がライト前にタイムリーを放ち先制した。その後も両投手が好投し、1-0で前半を折り返す。グラウンド整備後、東北は四球や失策で出た走者を盗塁や犠打で進め、6回以降は毎回1点ずつ着実に得点して試合を優位に進めた。対する東陵は、8回に先頭の代打渡邊が内野安打で出塁すると、二死から早坂がタイムリーを放ち粘りを見せたが反撃もここまで。東北は石崎が6安打1失点で完投し準決勝進出に貢献した。

準々決勝　石巻市民球場　2 時間 2 分

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	計
仙台第一	1	0	2	0	0	0	2	5	10
仙台城南	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（ 8回コールド ）

	打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併
【一】	33	12	6	8	4	6	6	9	1	2
【城】	28	6	0	0	0	3	2	7	3	0

（球） 曽根 徳明 （一） 小倉 貴仁 （二） 逸見 豪志 （三） 千葉 裕介

【一】 矢崎, 藤本 ― 大和
【城】 畑中, 福井 ― 今野

▽暴投 矢崎1(一), 福井2(城)　▽捕逸 なし

▽本塁打 なし
▽三塁打 横野翔(一)
▽二塁打 なし (一) 三浦 (城)

【評】
投打で圧倒した仙台一が８回コールドで仙台城南を下し、準決勝進出。仙台一は初回に二死から横野翔、加藤聡の連打に盗塁を絡めて幸先よく１点を先制。中盤以降は犠打を中心に堅実に攻め、効果的に得点を重ねた。守っては先発投手矢崎が制球に苦しみながらも粘りの投球。尻上がりに調子を上げ、終わってみれば７回２／３を無失点の好投。最後まで相手に流れを渡さなかった。仙台城南は、好機は作ったもののあと１本が出なかった。また、終盤に投手陣が四球から崩れたことが痛かった。